

**株式会社ビジョナリーホールディングスと資本提携  
～ 7P プロジェクトとして、眼科を中心とした疾患課題の解決を目指す～**

エムスリー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：谷村 格、URL：<https://corporate.m3.com/>、以下「エムスリー」）は、「7P プロジェクト」の一環として、株式会社ビジョナリーホールディングス（本社：東京都中央区、代表取締役：星崎 尚彦、URL：<https://www.visionaryholdings.co.jp/>、以下「ビジョナリーホールディングス」）に対して資本参加することで合意したことをお知らせいたします。

## 1. 背景

エムスリーは、日本の医師の9割にあたる28万人以上が登録する医療従事者専門サイト「m3.com」を運営し、製薬会社向けマーケティング支援サービスや治験支援サービス等を提供しています。昨今はAIを用いた診断ツールの開発、ゲノム検査の提供、脳梗塞リハビリ施設のグループ会社化など医薬品マーケティングに留まらないサービスの拡充、またそれらを複合的に組み合わせ医療疾患課題自体の解決を目指す「7P プロジェクト」を推進しています。また、日本のみならず米国、英国、フランス、中国、韓国、インドなど海外にも積極的に進出しており、全世界の医師の半数にあたる550万人の医師会員・調査パネルを基盤とした様々な事業を行っています。

ビジョナリーホールディングスは、全国に400近い店舗を有し、人口の1割近くを占める900万人に上るCRMデータを保有し、眼の健康寿命の延伸に繋がるアイケア商品およびサービスの強化をテーマに、アイケアサービスの根幹となる「トータルアイ検査」により、きめ細かくお客様の眼の状態や視距離等を調べる事で、用途や生活にあった最適なメガネ作りの提案に努めており、この独自のアイケアで存在感を高め50代以降の来店者を多く集めております。

一方、高齢化が進んでいるものの、“視聴覚”の健康に関しては、我が国では適切な医療・ヘルスケアサービスがまだ十分に行き渡っていない可能性があります。例えば、白内障・緑内障・加齢黄斑変性症といった疾患の受診率はおよそ1～2割を下回るともいわれております。（※1）また、難聴もしくは難聴の可能性がある人でも、医療機関の受診や補聴器相談といったアクションを取る人は少なく（※2）、潜在的に視聴覚の健康やQOLに問題を抱えている方は我が国には多く存在すると考えられます。

そこで、視聴覚を中心とした適切なヘルスケアサービスが適切なタイミングとコストで受けられる社会の実現を目指し、弊社は、全国400弱の店舗と顧客基盤を持つビジョナリーホールディングスとJV設立を伴う資本業務提携を行います。JVは次世代型のフラッグシップ店舗の運営を行い、さらに先述の「7P プロジェクト」の一環として、両社が持つ顧客基盤、ネットワーク、サービス群を組み合わせ、視聴覚の領域における潜在患者・疾患予備軍と、医療・ヘルスケアサービスとのタッチポイント創出につながる事業を展開して参ります。将来的にはJVを通して得た知見をビジョナリーホールディングス全店舗に拡大・展開して参ります。

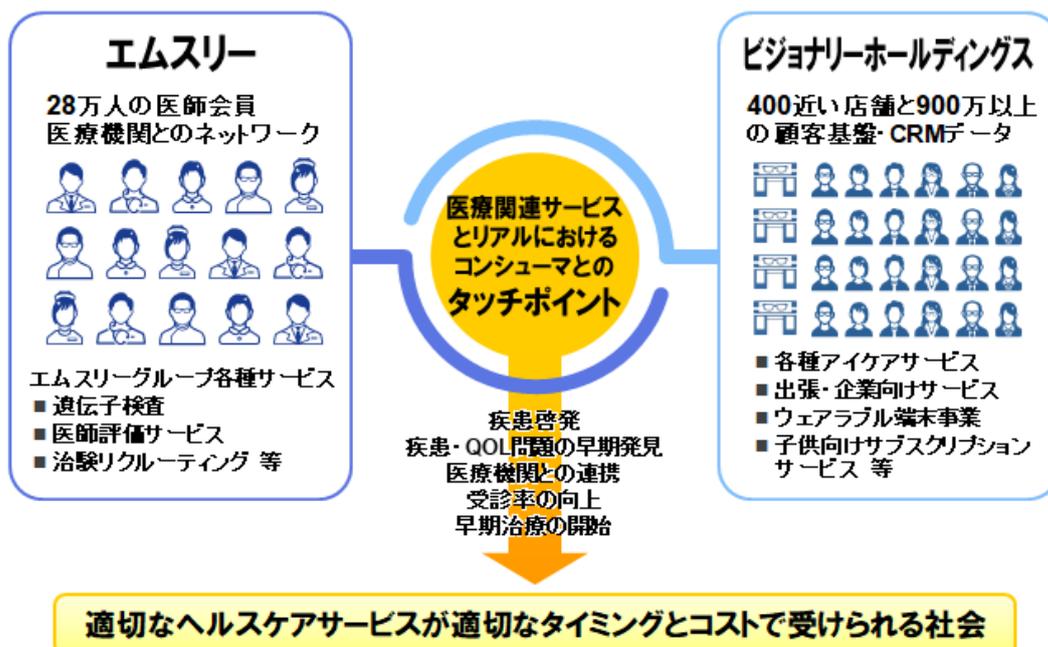
（※1）緑内障では400万人、白内障では3,500万人以上、加齢黄斑変性症では60万人以上の未受診患者がいると推計される。

(※2)「難聴または難聴と思っている人」(自己申告)のうち、耳鼻科医への相談経験がある割合は36%、かかりつけ医への相談経験がある割合は30%との調査報告がある(一般社団法人 日本補聴器工業会 JapanTrak2018 調査報告より)。

## 2. シナジー効果

想定されるシナジー効果には以下のようなものがあります。

# 資本提携により実現可能となる事業機会



### (1) エムスリーサービス利用者への各種アイケア商品・サービス提供

今回のJV設立を通じて、ビジョナリーホールディングスのメイン事業である「視覚・聴覚」を中心としたヘルスケア商品及びヘルスチェックとパーソナルケア・出張販売等の高付加価値サービスを、エムスリーグループのコンシューマ向け疾患啓発ソリューション、オンライン健康相談サービス(AskDoctors、LINEヘルスケア)、法人向け健康経営サポートサービス(M3PSP)と連携することにより、従来ではリーチできていなかったより多くの個人、法人に商品・サービスを提供できるようになります。

### (2) 一般消費者とのタッチポイント獲得

同時に、JV事業において、ビジョナリーホールディングスの店舗を、一般消費者とのリアルなタッチポイントとして活用し、エムスリーグループが個人を対象に提供しているゲノム検査サービス、脳梗塞リハビリセンター、医療機器・ヘルスケアデバイス等の認知向上と利用を促進すると同時に、日本の医師の9割にあたる28万人以上が登録する医療従事者専門サイト「m3.com」の医療従事者会員との連携により、店舗周辺に存在する視聴覚に疾病・リスクを抱える消費者が早期に適切な医療が利用できるような環境を構築できるようになります。

### (3) 将来的な全国規模での事業展開

JVを通じて構築された事業・サービスは、全国に400近くあるビジョナリーホールディングスの店舗と900万人以上に上るCRMデータ、そして弊社の情報基盤との連携により、

全国規模で展開されます。このことにより、「視聴覚」に何らかの疾患や問題を抱えた方々の健康と QOL の向上に貢献することができます。

### 3. 本案件の戦略的位置づけ

エムスリーでは医薬品マーケティングに留まらないサービスの拡充、またそれらを複合的に組み合わせ医療疾患課題自体の解決を目指す「7P プロジェクト」を推進しており、社会的な課題である高齢化に伴う眼科疾患潜在患者の増加についてもテーマの一つとして取り組んでいきます。今回資本提携したビジョナリーホールディングスの全国に 400 近くある店舗をプラットフォームとした潜在患者とのタッチポイント、グループの持つ各サービスを複合的に組み合わせ、疾患啓発、疾病の予防、受診率の向上、適切な医療機関との連携、治療に関わる全ての課題の解決を推進していきます。

### 4. 本案件の概要

エムスリーが、第三者割当を受けてビジョナリーホールディングスの株式 33%を約 42 億円で取得します。

また、ビジョナリーホールディングスが新会社を設立し、次世代型のフラッグシップと位置付ける店舗の運営をする事業部門を吸収分割で新会社に移管した後、エムスリーが新会社の株式を取得し JV 化します。JV 化後の持分比率は、ビジョナリーホールディングス：50%、エムスリー：50%（エムスリー持分法適用会社）となります。

#### 【今後の日程】

2020 年 2 月 17 日（予定） ビジョナリーホールディングスにおける、第三者割当増資に関する臨時株主総会決議

2020 年 2 月 18 日（予定） 第三者割当の払込及び本資本業務提携の開始

#### ◆会社概要

【名称】株式会社ビジョナリーホールディングス

【設立】2017 年 11 月

【所在地】中央区日本橋堀留町 1-9-11

【URL】<https://www.visionaryholdings.co.jp/>

【代表取締役】星崎 尚彦

【事業内容】眼鏡、コンタクトレンズ及び付属品、補聴器等の販売等、並びにこれら事業を営む会社の株式又は持分を保有することによる当該会社の事業活動の支配・管理

本件に関するお問い合わせ先

エムスリー株式会社

Tel : 03-6229-8900

e-mail : pr@m3.com

担当 : 広報担当